

最高傑作!「保永堂版東海道」

歌川広重

江戸・昭和

静岡県内初公開!「東海道五十三次」

関野準一郎

藤枝市郷土博物館特別展



〜江戸の広重と昭和の関野準一郎〜

2017 9.14 [木] - 10.25 [水]



歌川広重『東海道五拾三次之内 浦原 夜之雪』(個人蔵)

江戸の旅景色と昭和の高度成長期を描いた
二つの東海道が交差する!



関野準一郎『東海道五十三次 岡部 高速トンネル』(高浜市やきもの里かわら美術館蔵)

藤枝市郷土博物館・文学館

静岡県藤枝市若王子500(蓮華寺池公園内) TEL.054-645-1100

■ 休館日: 月曜日(祝日に当たる場合はその翌日) ■ 開館時間: 午前9時 - 午後5時
■ 入館料: 大人300円(団体240円)、中学生以下&障害者手帳等をご提示の方は無料

【協力】高浜市やきもの里かわら美術館 とろろ汁 元祖 丁子屋 【後援】静岡新聞社・静岡放送 中日新聞東海本社 静岡朝日テレビ 静岡第一テレビ テレビ静岡

歌川 広重

1797-1858

幕臣安藤家に生まれ、16歳の時に歌川豊広門下の浮世絵師としてデビュー。27歳で火消同心職を一族に譲り、専業の浮世絵師となる。天保2年(1831)35歳の時、「東都名所」シリーズを発表し、風景版画の第一作となる。同4年(1833)より7年頃まで、保永堂より「東海道五拾三次」シリーズを刊行し爆発的にヒットする。以後も東海道物や名所絵を次々に発表し、風景版画の巨匠として確固たる名声を築いた。



1

2

3

最高傑作「保永堂版東海道」の内、48点を展示

- 『東海道五拾三次之内 鞠子 名物茶店』
- 『東海道五拾三次之内 由井 薩埵嶺』
- 『東海道五拾三次之内 四日市 三重川』

1、2:個人蔵、3:丁子屋蔵

- 木版摺り実演会「北斎の赤富士に挑戦！」
9月23日(土) 10:30-12:00、13:30-15:00
【講師】 大久保 勇氏(静岡県版画協会事務局長)
- 木版摺りワークショップ「美しい花を摺ってみよう」
10月14日(土) 10:00-12:00、13:00-15:00
【講師】 大久保 勇氏(静岡県版画協会事務局長) 他
【料金】 1枚100円、【定員】 各回24名 **要申込**
- 箏コンサート「音楽で綴る日本の情景～夏から秋へ」
9月16日(土) 11:00-11:45、14:00-14:45
【出演】 福本礼美氏・梁井圭子氏(生田流正派邦楽会)
- 津軽三味線コンサート「津軽の響きと出雲世界」
10月8日(日) 11:00-12:00、14:00-15:00
【出演】 小山貢左衛門(小山流津軽三味線師範) 社中 森 睦氏(安来節保存会師範)
- 管弦楽コンサート「クラシック音楽の旅」
10月15日(日) 11:00-12:00、14:00-15:00
【出演】 志太室内楽団
- 「風の旅～縄巻修巳・尺八コンサート」
10月22日(日) 11:00-12:00、14:00-15:00
【出演】 縄巻修巳氏(尺八・篠笛奏者)

【定員】 各回80名(2のみ各回24名)
【参加料】 入館料(大人300円・中学生以下無料)が必要。
【申込み】 1・3・4・5・6は申込み不要、直接会場へ。
2のみ8/29(火)から受付開始。
電話・FAX・Eメールで郷土博物館へ。

講演会 & トークイベント & 映画講座

- 記念講演会「父・関野準一郎と現代木版について」
9月17日(日) 14:00-15:30
【講師】 関野 洋作氏(版画家・関野準一郎次男)
東海道五十三次の取材旅行にも同行した準一郎次男の洋作氏が、父の素顔や木版技法、東海道五十三次制作のエピソードなどについて講演します。
- トークイベント「東海道五十三次井戸端トーク」
～ぼくらの町の“楽しい”を語ろう! 伝えよう!～
9月24日(日) 14:00-15:30
【講師】 柴山 広行氏(とろろ汁 元祖丁子屋14代目) 他
広重の東海道五十三次を通して、文化や宿場、地域の楽しみ方をみんなで話し合います。
- 映画講座「懐かしの映画でよみがえる昭和の東海道」
10月9日(月・祝) 14:00-15:30
【講師】 小澤 正人氏(映画解説講師)
【解説映画】 東海道非常警戒・花の慕情・気まぐれ三輪葉毛・新日本珍道中 など
静岡県内でロケが行われた映画をご紹介します。懐かしい昭和の東海道や静岡の風景が映し出されたシーンを楽しみましょう。
- 記念講演会「江戸の旅と広重の五十三次」
10月21日(土) 14:00-15:30
【講師】 岩崎 均史氏(静岡県東海道広重美術館 館長)
浮世絵や判じ絵研究の第一人者が、江戸時代の旅の実情と、保永堂版東海道の抒情的な街道風景を解説します。

【会場】 文学館 講座学習室
【定員】 各回80名(8のみ24名)
【参加料】 入館料(大人300円・中学生以下無料)が必要。
【申込み】 7・8は8/29(火)から、9・10は9/14(木)から受付開始。電話・FAX・Eメールで郷土博物館へ。

藤枝市郷土博物館特別展 二つの東海道五十三次 江戸の広重と昭和の関野準一郎

本年、生誕二二〇周年を迎えた江戸時代を代表する浮世絵師の巨匠・初代歌川広重が描いた最高傑作「保永堂版の東海道五十三次」。これに対して、昭和の木版画の第一人者である関野準一郎がライフワークとして取り組んだ昭和の東海道五十三次。今回の特別展では、江戸時代と昭和戦後に制作された二つの東海道五十三次の大作シリーズを紹介いたします。

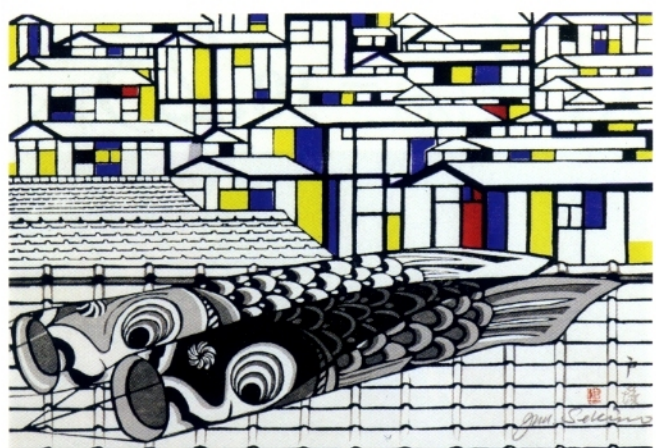
江戸と昭和、伝統と斬新さが織りなす両者の木版画作品を見比べながら、東海道風景の移り変わりや伝統・開発といった時代の波に想いを馳せてみましょう。昔も今も日本人を魅了してやまない、古くて新しい、そして伝統と創造を発信し続ける「東海道」の魅力や旅愁を感じていただければ幸いです。

関野 準一郎

1914-1988

青森生まれの昭和戦後を代表する創作版画家。青森で版画技法を学び、1939年に上京する。終戦後、自宅で銅版画研究会を立ち上げる。1958年、ジャパン・ソサイエティの招きでアメリカ滞在・ヨーロッパ旅行を経験し、帰国後、旅先の風景や人物をモチーフにした木版画を発表し、国際展入賞作を生み出す。1960年から1974年までライフワークとして「東海道五十三次」シリーズの制作に取り組み、抒情的な風景と斬新な造形が評価され、芸術選奨文部大臣賞を受賞した。

- 『東海道五十三次 戸塚 鯉のぼり』
 - 『東海道五十三次 藤枝 昏麦畑』
 - 『東海道五十三次 四日市 コンビナート夜景』
- 高浜市やきもの里かわら美術館 蔵



1

2

3

お問い合わせ・お申込み
藤枝市郷土博物館・文学館

tel 054-645-1100 fax 054-644-8514
Eメール muse@city.fujieda.shizuoka.jp